

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	・客観的データを基に、育成したい資質能力を明確にして、教育課程の編成に努める。特に、人権教育と生命の尊厳に重点を置く。 ・ぎふMIRAI's等、探究心を育みながら挑戦し、可能性を伸ばす教育活動を推進する。	A	・「やってみよう 自分も幸せ！みんなも幸せ！安心安全で楽しい学校」を目指し、道徳・人権教育・いじめの未然防止に力を入れたことにより、95%の子が学校教育目標を目指して生活できたと回答した。 ・問いをもち、探究心をもって活動したり、挑戦したりする中で自分の可能性を伸ばすことができた91%の児童が回答した。英語教育の回答も数%向上した。	・目指す学校像に向けて取り組み、成果があった。今後も、未来を担う子どもの教育課程の編成をお願いしたい。 ・英語において3年生以上で専門教員が担当し、その効果が出ている。 ・子どもたちの挑戦意欲が向上している。探究心や憧れを育む教育活動を、今後も大切にしたい。	・本校が目指す学校像を学校・家庭・地域が共通理解を深められるよう、継続して情報発信と対話を行う。また、2040年の社会を見据え、多様性を尊重し、幸福を創造していく教育課程を更に充実させる。 ・「ぎふMIRAI's」等の学習活動を再構築し、一人一人の探究心を喚起し、自己の可能性を伸ばす教育課程を編成する。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	・幼小中の接続を重視し、児童生徒が安心してよりよく生きていくことができるよう、異校種間交流を行う。 ・地域人材を起用し、地域の人、もの、ことに触れることを通して、地域の素晴らしさを学び、地域のために社会参画する子どもを育成する。	A	・幼保子園の教師と積極的な交流を行い、子ども理解に基づく指導法を共有し、小1プロブレムの解消に努めた。また、小1と小5、年長児の交流も和やかに行えた。 ・地域の防災活動や灯籠祭り、市民運動会への参画や地域を学ぶ学習を通して94%の子が地域の人と良好な関係を築き、よさを実感することができたと回答した。	・今後も幼・小・中との連携を密にしていき、不登校の予防につないでいけるとよい。 ・地域の行事活動は、小学校での経験が基盤となる。例えば、小学校の運動会の係活動は、地域運動会のボランティア活動に直結する。持続可能な地域を願い、高学年が奉仕し、低学年がそれを見て憧れる場をつくってもらいたい。	・幼小中の連携を一層強化し、子どもの成長過程を継続的に共有できる接続の場を大切にす。また、協議を通して、課題と改善策を明確にし、指導に生かしていく。 ・地域防災訓練の合同実施を継続し、地域の人材育成を視野に入れた協働体制を構築することで、地域とともに子どもを育む教育を推進する。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	・教育DXを積極的に活用したり、組織の見直しを図ったりして業務量の適正化に努め、子どもに向き合う時間の確保とやりがいを創出する。 ・教職員が互いの立場を尊重し、仲良く支え合い学び合い、成長できる温かい職場を築く。	A	・教育DXを活用した会議やロイロノートを活用した授業を積極的に行った。特に、ここタンによる心の実態把握は有効だった。 ・教科担任制を2年生以上で行い、88%の子が授業がよくわかったと回答した。特に、高学年担任の持ちコマ時数を削減したことで、子どもに向き合う時間が増え、学校全体が温かい風土となることができた。	・子どもたちがタブレット端末を上手に使っている。これは教師の情報活用能力が高いことによるものと考える。 ・子どもたちが笑顔であった。教師が子どもたちにしっかりと向き合っていることが伝わった。掲示物や一人一人の記録、よさ見つけなどが丁寧な位置付けられている。個に応じたコメントも素晴らしかった。	・教職員の情報活用能力を計画的に高め、ICTを活用した教育の質の向上と業務効率化の両立を図る。 ・教職員が互いの立場を理解し、支え合う職場風土を醸成し、資質・能力の向上と心身の健康保持を両立させる。また教科担任制や学校担任制を継続し、一人の教員が抱え込むことのない指導体制を強化する。
子どもたちが安心して学べる学校づくり	・学校いじめ防止基本方針等に基づき、いじめの未然防止や認知と、迅速で組織的な対応に努める。 ・「自分も幸せ！みんなも幸せ！安心安全で楽しい学校」を合言葉に、チーム学校で、よりよい生き方を選択できる子どもの育成に努める。	A	・いじめ対策監を核に、子どもの実態把握に基づく積極的ないじめの未然防止を行った。これにより、いじめが起きない学級や学校になるよう95%が努力したと回答した。 ・児童会活動や縦割り活動、人権講演会、全校朝会の校長講話を線で結び、「自分も幸せ！みんなも幸せ！」を合言葉となる選択と行動ができる子を育てることができた。	・いじめの件数が多いのは、見逃しが無いよう小さなものも取り上げている証拠である。重大なものに発展しないよう、今後も取り組みをお願いしたい。 ・継続して人権を大切にする教育活動に力を入れていることが分かった。「りんごを実らせようキャンペーン」の掲示物も学校の宝となっている。	・学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止を最優先とした取組を体系的に進める。いじめが発生した場合には、組織的かつ迅速な対応を徹底する。 ・子どもがよりよい生き方を主体的に選択できるよう、教職員が人権意識を高め、日常の指導・助言に人権尊重の視点を組み込んでいく。
災害、事故に対する安全性の確保	・危機管理マニュアル等に基づいた命を守る訓練や防災教育を計画的に実施し、評価をもとに、危機管理マニュアルを随時見直す。 ・家庭や地域と連携した防災訓練や交通安全教室等を実施し、地域全体で子どもを守る体制を強化する。	A	・今年度、不審者が2人侵入した場合の訓練や、弾道ミサイル訓練、自治会と協賛した地域防災訓練を実施した。交通安全では、行政と地域、家庭と共に、子どもの意見を反映させた通学路安全ワークショップを行い、地域全体で子どもを守る体制を整えた。緊急時の情報発信について、保護者から100%という好評を得た。	・危機管理において、命を守るために家庭へのきめ細かな連絡が行われ、安心・安全が図られている。今後も継続して取り組んでほしい。 ・地域で行われた通学路ワークショップについても、その後の工事が適切に行われているか、地域でも確認していく。	・危機管理マニュアルの定期的な見直しを行い、訓練や安全教育を通して、より適切な対応ができる体制を整備する。 ・通学路の安全確保については、ハード面の整備に加え、子ども一人一人が状況に応じて安全な行動を選択できる判断力を育成する安全教育を充実させる。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	・全職員が危機管理意識をもち、個人情報や著作権の管理に努める。 ・施設設備や教材教具、ICT機器、備品等を定期的に点検・整備し、適切に管理する。加えて、財務や納入金の適切な管理と運用を行いよりよい教育に生かす。	A	・コンプライアンス意識を高める研修を効果的かつ定期的に実施し、不祥事の防止となるよう努めた。 ・毎月の施設設備の点検に加えて、年度末に丁寧な備品点検を実施した。必要な備品と廃棄する備品を複数の教員で見極め、備品台帳との突合を図った。公金や学校納入金についても適切な管理と運用に努めた。	・教育公務員として、子どもたちのためによく尽くして下さっている。 ・教育環境の整備については、時代に合わせたよりよいものを子どもに使わせていきたい。古くて時代に合わないものは、適切に廃棄していけばよい。	・教職員のコンプライアンス意識を高めるため、定期的な啓発指導を実施し、地域から信頼される学校運営を推進する。 ・教育環境の設備点検を継続し、財務・納入金の適切な管理と運用に努め、安全で健全な学校経営を行う。